

会議録

会議の名称	令和7年度第1回伊奈町地域公共交通会議
開催日時	令和7年11月25日（火） 開会：午後2時00分 閉会：午後3時40分
開催場所	伊奈町役場3階 第1会議室
出席者	秋葉 宏和（会長）、田沼 健一、野口 佳一、鈴木 秀忠、本多 哲大、藤田 貢、田島 廣、川村 英輝、松本 一也、近藤 孝志、細田 力 ※敬称略
欠席者	関根 肇、清水 宏典、川田 敬之
会議内容	1.開会 2.会長挨拶 3.委員紹介 4.議題 ・町内循環バス「いなまる」の次期運行形態について 5.審議 6.閉会
会議資料	・伊奈町地域公共交通会議次第 ・伊奈町地域公共交通会議設置要綱 ・伊奈町地域公共交通会議 委員名簿 ・伊奈町地域公共交通会議 資料 ・いなまる 時刻表・路線図
その他特記事項	
主管課	危機管理課

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会	4. 議題 ・伊奈町地域公共交通会議設置要綱第5条第1号により、議長は会長とされていることから、ここからは秋葉会長に進行をお願いする。
議 長	（1）町内循環バス「いなまる」の次期運行形態について ・次第4の（1）「町内循環バス「いなまる」の次期運行形態について」事務局より説明をお願いします。
事 務 局	（伊奈町地域公共交通会議 資料に基づき説明）
議 長	何か意見や質問はあるか。

委 員	循環バスが AI オンデマンドバスに切替える大枠の方針の協議で、具体的な内容は来年度以降ということで、認識した。 利用者アンケートに、乗りたい時間に乗れない、運行本数が少ないとあったが、A I オンデマンドバスに切替えると予約する方が自分の行きたい目的地に到着するのに時間がかかる場合や、既存のバスやタクシー事業者とすみ分けしないといけない。話し合い既存の公共交通機関が納得し、利用者が効率的に活用できるよう願います。 道路交通法が改正され、運賃協議は別の協議になるので、運賃協議の際は、設置要綱を設置するようお願いする。
事 務 局	利用者アンケートで、一方方向の運行は時間がかかる、バスのサイズに比べて乗車人数が見合っていないとの意見がある。 課題の解消を検討した結果、A I オンデマンドバスの導入が適していると考えられる。交通事業者とは今後協議しながら、進めていく。
委 員	今後、A I オンデマンドバスの運行形態を進める際は、本日欠席している交通管理者、警察、道路管理者にも配慮するようお願いする。
事 務 局	承知した。 欠席した委員には、今回の会議内容を伝える。
委 員	県内の他自治体では、AI オンデマンドバスと同種のことを運行したが、定時定路線に戻した事例もある。 A I オンデマンドバスで全てが解決できるものでは決してなく、A I オンデマンドバスは、予約をしないと来ない。予約は、必ずしも自分の希望するところに乗れるかどうかわからない。この資料には、メリットばかり書いてあり、デメリットの記載がない。導入した後に地域の方が思っていたのと違うという話になるような気がしている。 A I オンデマンドもハイエースを用意すれば相乗りはできるが、予約が同じ方向に行かない限り、相乗りが成立しない、乗合率も、他自治体をみても 2 人はあまりないような状況があるから、3 両の用意をしても、予約が取れないという意見が非常に多くなるような気がしている。 賛成するもしくは、しないと言える材料がない。
議 長	デメリットの認識だが、今後町民に説明する中で、必要になるが、現段階

	で認識していることがあれば、発言をお願いする。
事務局	A I オンデマンドバスを導入したから全てが解決するということではないとは思っている。 他自治体の視察に伺い、運行の状況や予約の状況等、伺った。実際、乗り合い率がなかなか上がっていかないというような話も他自治体から伺っている。 「いなまる」の課題や改善点をどう解消するのかと考えたときに、A I オンデマンドバスが、一つの課題の解消に向けた運行形態のあり方なのではないかと考えている。
議長	町としてもこれまでの様々な意見の中で、これが最適ということで提案した。指摘についてはしっかり受け止めて、進めていく。
委員	乗降場所は数値的にわかるが、乗っている人はほとんどが高齢者なので、行き先が限定していると思う。乗降の多い病院、商業施設などに絞って、その近くで乗降するのではなく、そこの前まで行くとすれば利用率があがると思う。
事務局	目的というところでは、利用者アンケート結果から病院、商業施設、公共施設の利用が多い。 A I オンデマンドバスに変わると、他導入自治体でもピンポイントで病院前などに乗降ポイントを落としている。バス停のように、降りたところから何百メートル歩いて病院行くような状況ではなくなってくるというのが、デマンドバスのメリットの一つと考えている。
委員	定時定路線の良い面もあると思うが、A I オンデマンドバスの方が利用者の能動的な行動に結びつけられるというメリットがあると思う。
事務局	メリット・デメリットをしっかりと伝えて、何をどういうふうな形で切替えていくのが良いのか、十分検討していく。
委員	乗り切れるのかというところを非常に心配している。「いなまる」の利用人数は、年々増加傾向で、他自治体のコミュニティバスでここまで増えている例があまり見たことがない。 これは抜本的に走る道路を変えるのか、走り方を変えるのか、というところ

	ろの検討からというような形になると思う。3台という台数で、乗れないという声の方が大きくなるのではないかという心配がある。 それと、アンケートの文章も見せていただけると、どんな回答が出ているのかが理解しやすい。アンケートは聞き方によって、答え方が決まってくるので、このような答えが出る質問の仕方をしているのかと思った。
事務局	昨年度初めて5万人を超えたというような状況。現状では未確定だが、オンデマンドバスを導入した際は、3台体制という形で考えている。次年度以降決めていくような形になるので、ご意見を参考にする。利用者アンケートの内容についても、後日送付する。
委員	来年11月の変更に向けて動くとなると、来年度の動き出しだと、間に合わないのではないか。
事務局	並行で「いなまる」とデマンドを動かすかどうか、その辺についても、まだ決まっていない状況。今後決めていくような形になる。早めに方向性を決め、皆さんに共有させていただきたい。
委員	目指している期間がいつぐらいまでに形にしたいとか、あるいは運行開始したいなど、あったら説明して欲しい。
事務局	町の政策会議・庁議を経て、デマンド交通の方向でいくという形で、町の方向性は決まっている。料金やバス停の問題など、詳細については今後庁内で調整していく方向である。 スケジュールについては、来年度当初にプロポーザルで事業者を決定したいと考えている。導入を11月にするのか、年度またぎにするのかは、今後の調整が必要になってくる。明確なスケジュールについては、現段階では不透明でありお伝えすることができない。
議長	これまでの「いなまる」の運行形態について主に議会で課題として複数回大きく指摘されており、それを受け止めた中で、運行形態を含め色々と検討した中で、最善の一手がこれだということで、町長も含めて、町の方向性としていきたいと決定しているところである。 民間の圧迫にならないよう、意見をしっかり聞きながら、調整していくことについて、今回の会議で理解をいただきたい。

委 員	コミュニティバスからA I オンデマンドバスへの切替に反対ということではなく、A I オンデマンドバスのメリット・デメリットの整理をして、その上で提示した方が話はわかりやすいと思う。方向性ありきではなく、多角的な面で話をしてほしい。
事 務 局	現行の循環バス「いなまる」の拡充ということで、再編案1の「バスを2台増やし、両回り便にする案」の提案は、乗車時間は短くなり、一方周りで時間が非常にかかるということが解消される一方、コスト面で大幅に財政を圧迫するというのがデメリットとしては挙げられる。バス停の数も、現行から多少の増加は、図れるものの、A I オンデマンドバスの乗降場所の増に比べると、車両のサイズも含めて難しいという結果になった。 再編案3の「循環バスとA I オンデマンドバスの併用」は、病院など朝方に利用が偏る時間帯は定時定路線を運行し、日中は、A I オンデマンドバスに切替えるもので、一日中ずっと併用ということではなく、時間で切り分けるということで併用案が示されたものである。これは「早朝が予約なし」、オンデマンドバスの時間に切替わったところで「予約あり」というように利用者の混乱を招く可能性があることが、課題として捉えられている。また、定時定路線とA I オンデマンドバスを併用することで、利用可能な乗降場所の箇所数等が変わってくるため、難しいという業務委託の結果である。町としては、完全ではないかもしれないが、最善なものがA I オンデマンドバスへの切替えではないかという結論である。
委 員	路線バス片道200円と同等にする話のようだが、A I デマンドバスを導入するとタクシー事業者への影響が非常に大きいと思う。他自治体においては300円から500円が多いと思うので、200円が適正なのかは運賃協議会を設定して話し合いををすると思うが、地元タクシー事業者の方が苦労しないようお願いする。 もう一点、A I オンデマンドバスと「いなまる」が両方一緒に走る期間があるという話だが、財政面もあると思うが、おおよそどれぐらい考えているのか。「いなまる」の運行事業者が仮に来年11月以降請け負ってくれるのかはわからない話だと思う。 契約切れるところのタイミングで、やらないことも考えられるため、今の運行事業者には丁寧に説明をし続けていただけるのか。終わりになるのかといったところも必要と思う。

事 務 局	200 円を上回ると説明をしたが、タクシーの初乗りが 500 円で、伊奈町を通過等する民間事業者の路線バスの運賃が 200 円のため、他自治体見ても 300 円から 600 円ぐらいまで幅もある中で一般の運賃設定をしている自治体が多いと理解している。高齢者の割引の考え方としては、例えば、高齢者が半額にしたときの下限を 200 円以上に設定するということは最低限考えているというような形で理解してほしい。 併行期間の話だが、「いなまる」の交通事業者と詳細を相談したいと考えている。
委 員	同じような規模の自治体で気になることがあれば、ご相談してもらえればと思う。
事 務 局	今いただいた意見も踏まえて、色々と相談させていただく。
議 長	5. 審議 メリット・デメリットある中で、町としてもしっかり再整備、再検討、再認識させていただく。 いろんな先進自治体に視察とか、情報収集をしてきているところだが、検討調査の等深めて、これからから細部の検討に移る段階にはしっかりと固めていく。意見・質問等出尽くしたっていうことであれば、町内循環バス「いなまる」の次期運行形態については、本日、出席している委員の承認の確認をして、町として進めてまいりたい。 伊奈町地域公共交通会議の設置要綱の第 5 条第 2 項の規定に議決の方法は出席議員の過半数の決を取るという形になっている。町として進めいくことについて承認いただけるようであれば、挙手をお願いする。
委 員	A I オンデマンドバスの利用者が増えるように内容を変更していくことで進めていくのか、循環バスに戻していくことで進めていくのか、どういったように進めていくのか？手を挙げづらいという状況である。
事 務 局	利用率がデマンドに変えてどのくらいあるかというのは、他自治体に話を聞いたときも、不透明な状況で進めているようである。 メリットなどをどのように町民に伝えていくかっていうのが必要になると思うので、A I オンデマンドバスを導入した場合は、その利便性について、町としても丁寧に伝えていく。

議 長	町民に浸透しなければ循環バスに戻すということも、視野に入ってくるものとする。
委 員	「いなまる」の利用者の大半は、AI オンデマンドバスを望んでない利用者が多いのではないかと考えている。 「いなまる」の改善の余地があるのに、なぜそれを壊して AI オンデマンドバスにいつてしまうのかなと非常に疑問に思っている。まず、発着点が総合センターからあることが、間違っていると思っている。 「いなまる」の需要を高めるために、いろんなことを協議した方が、現場を見ていて、残念がる利用者が、多いのではないかと考えている。
議 長	調整すべき事項が大きいと思うので、今日の決は一旦保留にする。
事 務 局	コミュニティバスと A I オンデマンドバスのメリット・デメリットについて、しっかりと整理する必要性もある。意見を整理して、もう一度会議を開催する。
議 長	結果として準備不足であった。今一度、議案をしっかりと上げて、準備を進める。
事 務 局	会議全体を通して、委員の皆様から何かあるか。
委 員	資料の中で運行時間に関して、現行 8 時から 20 時、これを AI オンデマンドバスに向けて短縮という話があり、今までも何度か便の削減の相談をしたかと思う。11 月まで引っ張らなくても良いと思うので、途中でなくすということも場合によってはあると思っている。
委 員	話の中に使用目的が病院とかであるにも関わらず、路線図に「〇〇病院には〇〇バス停で降車」とかを載せることで、利用客を増やす策があると思う。また、病院を載せるなら広告を入れて、経費を削減するという考え方も成立すると思う。利用を促すようなものからやっていくこともあると思う。
委 員	車種がハイエースやキャラバンとなると、デマンドバスというよりかはデマンドタクシーになる。

事務局	いただいた意見で、バス停名だけでなく、例えば、スーパーの近くだとその名前を記載することで、利用者目線からすると、より使いやすくなると思う。利用者目線に立った形でよりわかりやすい資料の作成をしていきたいと思う。資料を含め説明不足というのもあったので、次回の会議について再調整し、会議の出席依頼をさせていただく。
司会	以上をもちまして、「令和7年度第1回伊奈町地域公共交通会議」を閉会させていただきます。 6. 閉会